

CTI
REPORT第62期 中間報告書
2024年1月1日～2024年6月30日

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、日頃より当社グループの経営に格別のご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、当中間連結会計期間の当社グループ全体の受注高、売上高、営業利益は、ともに当初計画を基準とした上半期予想を上回る実績となりました。国内建設コンサルティング事業においては、国土強靱化の推進等を背景とした好調な受注環境に加え、業務単価の上昇や業務生産の効率化により業績が順調に推移したこと、海外建設コンサルティング事業においては、業務が順調に進捗し、かつ、為替が想定より円安に推移したことが要因です。下半期についても当初方針のとおり、生産体制を確認しながら技術者の労働負荷を考慮した業務受注を行う予定です。期首経営計画のポイントである人的資本への投資や労働時間削減については順調に進捗しております。

今後も引き続き、社会が抱えている課題を解決するための提案を積極的に行うプロフェッショナル集団として成長するとともに、リスクマネジメントやガバナンスの強化を図り、企業価値を向上させてまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き格別のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



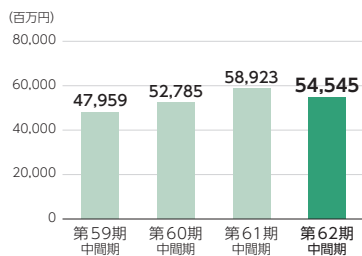
代表取締役社長執行役員

西村 達也

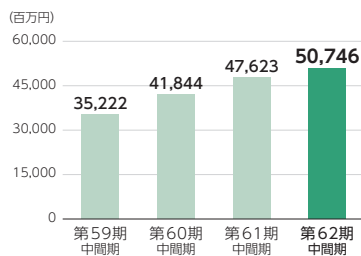
決算ハイライト

上半期の当社グループ全体の受注高・売上高・営業利益は、ともに上半期の実績が予想を上回りました。下半期は、例年どおりの進捗が想定されるため、上半期の好業績を踏まえ、通期計画の上方修正を発表しました。

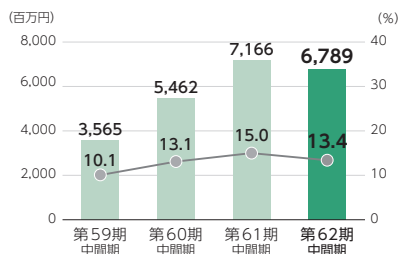
受注高



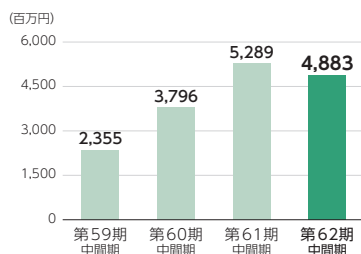
売上高



営業利益



親会社株主に帰属する中間純利益



●通期計画

(単位：百万円)

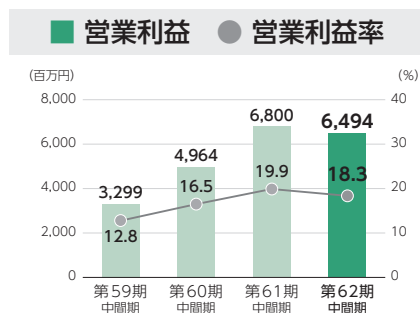
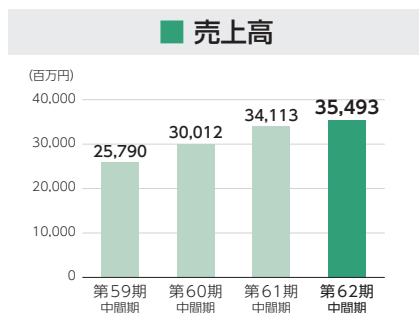
項目	3/26 発表予想	8/13 修正予想
売上高	89,000	97,000
営業利益	8,400	9,600
営業利益率	9.4%	9.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	6,100	6,900



国内建設コンサルティング事業

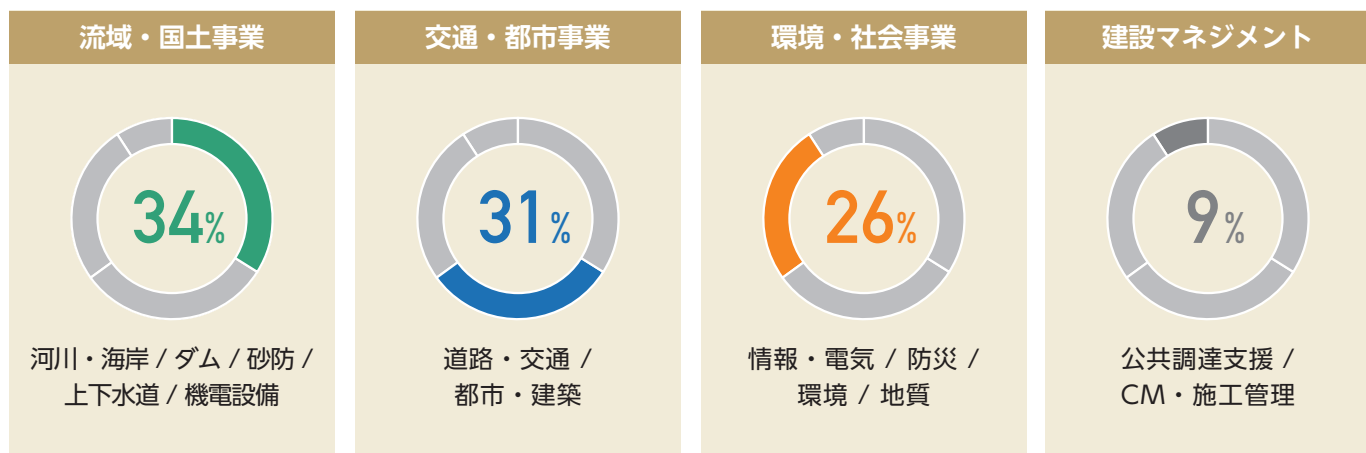
上半期の売上高・営業利益は、第1四半期での想定以上の進捗を受け、当初計画を上回る実績となりました。

下半期は、技術者の労働負荷を考慮しつつ、業務受注していく予定です。



国内の事業分野 4つの部門で事業を展開しています。

●第62期中間期受注高構成比 (国内)



国内トピックス

AIを用いた予測制御型エネルギーマネジメントシステムを開発

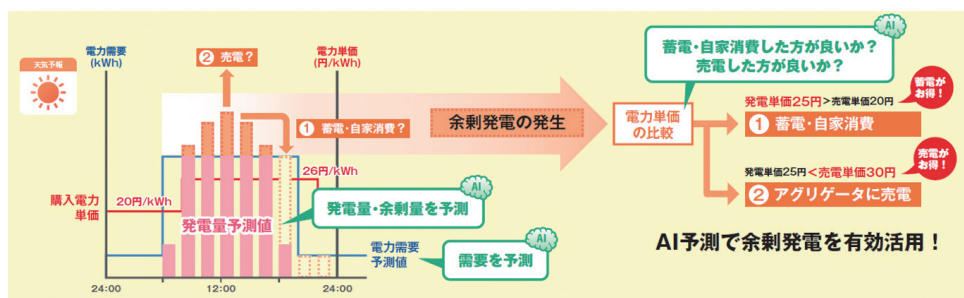
CTI 株式会社 建設技術研究所

当社は、脱炭素社会の構築を目指し、AIを用いて発電量および電力消費量予測を行う「予測制御型エネルギーマネジメントシステム」(以下、本システム)を開発しました。本システムにより、ビルオーナーなどの需要家が的確な電力の需給管理を行うことが可能となり、コストの最適化とCO₂排出量削減を実現します。

【特徴】

- ① 高い精度での発電量および電力消費量の予測
- ② 需給マネジメントによる需要家メリットの最大化

本システムの開発により、再生可能エネルギーの活用を含む電力の最適な利用の実現により、脱炭素社会の構築に貢献します。



AI 予測制御型エネルギーマネジメントシステムによるコスト最適化

ウイスキー製造を開始 株式会社 CTI アセンド

CTI 株式会社 CTI アセンド

CTI グループの株式会社 CTI アセンド (本社：福島県相馬市) は相馬市玉野地区において、地域資源循環や未利用施設の活用などのサステナブルな事業を通じて地域復興へ貢献することを目的に2023年1月に設立され、子実トモロコシの栽培およびウイスキー製造・販売に向けての各種準備を進めてきました。この度、2024年6月にウイスキーの製造免許を取得し、7月1日から製造を開始いたしました。製造したウイスキーの販売は2026年に開始する計画としています。



株式会社 CTI アセンドについての詳細はQRコードよりHPをご覧ください。



玉野アセンド蒸留所となった旧玉野小学校



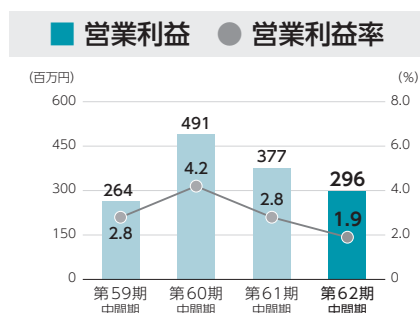
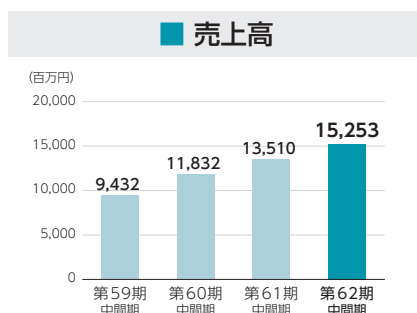
蒸留設備



海外建設コンサルティング事業

上半期の売上高・営業利益は、計画どおりに進捗しました。

海外の景気動向、為替レート等の不確定要素はあるものの、通期も計画どおりの進捗となると想定しています。



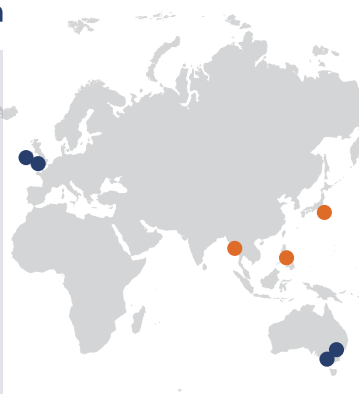
海外事業

Waterman と 建設技研インターナショナル の2つの子会社を軸としてグローバル展開しています。

Waterman Group Plc



沿革	2017年6月 当社グループ入り (持株会社)
事業概要	主に民間企業向け ➡ (建築系) 構造設計、設備設計 主に公共事業向け ➡ (土木分野) ・建設コンサルタント ・技術者派遣
事業地域	イギリス、アイルランド、オーストラリア



建設技研インターナショナル



沿革	1999年3月 当社の海外事業部門が独立し、当社 100% 子会社として設立
事業概要	中進国・発展途上国の ODA を主体とした建設コンサルタント事業
主な取引先	独立行政法人国際協力機構 (JICA)、世界銀行、アジア開発銀行、各国政府等
事業地域	拠点は日本、ミャンマー、フィリピン 事業対象は、アジア、アフリカ、中東、南米等

海外トピックス

クレリス・フォーター・プロジェクトが 第73回 ACEI 賞を受賞

アイルランド・ダブリンのクレリス・フォーター・プロジェクトが、アイルランド・コンサルティング・エンジニア協会賞 (ACEI 賞) の「Structural Large」賞を受賞しました。15部門にわたる ACEI 賞は、アイルランドの開発業界全体の卓越したエンジニアリングの功績を称えるもので、革新性と持続可能性を取り入れた最先端のソリューションが表彰されます。

Waterman は、建築家であるヘンリー・J・ライオンズとともに、この再開発の可能性を最大限に引き出し、歴史的建造物を後世の人々が楽しめるように保存するために、土木・構造設計業務を行いました。



クレリス・ビル



受賞を祝う Waterman のダブリンチーム

第72回 グラスゴー市域の気候レジリエンス目標策定を支援

英国の2030年の炭素削減目標達成のためには、地域や地方の気候変動適応計画の実施は必要不可欠です。Waterman の気候レジリエンス・チームは、グラスゴー市域の適応戦略と行動計画の進捗状況を評価し、今後2年間の行動に関する提言と優先事項を作成しました。この戦略は、グラスゴー市域が気候変動の影響に備え、繁栄し続けることを目的としており、適応による利益が広く公平に共有されることを目指しています。

市の戦略責任者より高い評価を受け、気候変動に強いグラスゴー市域を実現するための軌道を維持できるよう、引き続き提言への対応に取り組んでいきます。



グラスゴーを流れるクライド川の風景

湯浅コンサルタント株式会社が 完全子会社となりました。

京都市に本社を置く湯浅コンサルタント株式会社は6月12日に当社の完全子会社として、CTIグループの一員となりました。湯浅コンサルタント株式会社は創業53年の建設コンサルタント会社であり、京都市を中心に上水道部門や道路部門の事業展開を行っております。同社をグループ化することにより、同社が有する市場や技術をグループ内に展開し、グループ全体の事業拡大を図ってまいります。

IR情報はウェブサイトからも ご覧になれます。



<https://www.ctie.co.jp/ir/>



ウェブサイトは
こちらから

会社の概要

設立 1963年4月
商号 株式会社建設技術研究所
(英文社名: CTI Engineering Co., Ltd.)
本店所在地 東京都中央区日本橋浜町3-21-1
資本金 3,025,875,010円

役員の状況 (2024.6.30 現在)

代表取締役会長	中村哲己
代表取締役社長執行役員	西村達也
代表取締役副社長執行役員	名波義昭
取締役専務執行役員	鈴木直人
取締役常務執行役員	前田信幸
取締役常務執行役員	上村俊英
取締役常務執行役員	藤原直樹
取締役常務執行役員	松岡利一
社外取締役	池淵周一
社外取締役	小棹ふみ子
社外取締役	園部芳久
社外取締役	小笠原敦子
常勤監査役	見附敬三
監査役	中下恵勇
社外監査役	田中康郎
社外監査役	石川剛

株式情報 (2024.6.30 現在)

- 発行可能株式総数 40,000,000株
- 発行済株式の総数 14,159,086株
- 株主数 3,545名(うち、議決権あり株主数2,724名)
- 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,440	10.38
有限会社光パワー	1,396	10.06
建設技術研究所従業員持株会	1,057	7.62
重田康光	396	2.86
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	382	2.76
株式会社三菱UFJ銀行	371	2.68
三菱UFJ信託銀行株式会社	354	2.55
住友生命保険相互会社	300	2.16
第一生命保険株式会社	269	1.94
高橋豊	240	1.73

(注) 持株比率は、自己株式(278,650株)を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度 1月1日から12月31日まで
定時株主総会 毎年3月
基準日
定時株主総会 12月31日
期末配当金 12月31日
中間配当を行う場合 6月30日
公告の方法 電子公告の方法によります。ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に掲載して行います。公告掲載URL <https://www.ctie.co.jp/>

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部
電話 0120-232-711(通話料無料)
郵送先 〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部

手数料 無料

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、ご不明な点は口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店におきましてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
- 株主様のお名前などに株式会社証券保管振替機構で指定されていない文字が含まれる場合は、通知物のあて名の一部または全部が同社の指定する文字に置き換えられることがありますので、あらかじめご了承ください。

CTI 株式会社 建設技術研究所

UD
FONT

本社 〒103-8430 東京都中央区日本橋浜町3-21-1
TEL. 03-3668-0451(大代表)
<https://www.ctie.co.jp/>